

巻 頭 の こ と ば

令和元年度に執行いたしました本市行政事務について、その概要を報告いたします。

経済振興に関しましては、街の玄関口である米子駅周辺において、南北自由通路の外観デザインを決定し、駅前地下駐車場をリニューアルしたほか、体験型複合施設がオープンした角盤町周辺では、エリア復活プロジェクト等への支援や米子市美術館における魅力的な企画展の開催等により市内外からの集客を図るなど、中心市街地の賑わい創出に向け官民一体となった取組を行いました。また、地域経済の活性化や若年層の人口流出などの諸課題に対応するため、企業誘致や地元企業の増設拡大の受け皿として米子インターチェンジ周辺工業用地の整備を行いました。

観光・文化振興においては、史跡公園として整備を進める米子城跡の危険木伐採や遺構発掘調査を実施したほか、伯耆古代の丘公園の入園料無料化及び芝生広場の造成を行い、観光資源としての活用につなげる施策を進めてまいりました。

教育・子育て環境の整備としては、市内小中学校普通教室への空調設備の設置、学校施設の長寿命化改修工事や校舎増築工事等を行い、安全・安心で快適な教育環境の整備に努めました。また、より自然に近い星空を再現でき、迫力と臨場感のあふれる映像で子ども達に夢と感動を与えられるよう、児童文化センターのプラネタリウム設備の更新も行いました。

現在、世界的に新型コロナウイルス感染症拡大による非常事態が続いておりますが、本市においては、本年1月に「米子市コロナウイルス感染症対策本部」を設置して感染拡大防止を主眼とした対策を講じてまいりました。5月には、感染拡大防止対策と併せて市民生活や社会経済活動の支援等に取り組む新たな対策会議を立ち上げ、総合的な対策を全庁一丸となって進めているところです。

そうした中、市の将来像である「住んで楽しいまち よなご」の実現に向け、今後も人口減少や少子高齢化等の諸課題に迅速かつ柔軟に対応しつつ、令和2年度から始まる「米子市まちづくりビジョン」に基づく機動的かつ効果的な諸施策を展開しながら、鳥取県西部圏域はもとより、中海・宍道湖・大山圏域の中心的な役割を担う都市として、さらなる連携をもって一体感のある発展を図っていきたいと考えております。

市議会議員各位のご指導をはじめ、市民の皆さまのご意見とご協力をいただきながら、引き続き、市政運営にまい進する所存でございますので、どうか、一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年8月

米子市長 伊 木 隆 司